

京都・新住協総会



前夜祭、いい便のチケットがとれなくて、どうせならと午前中に関西に入った。

奈良の唐招提寺を見たかったのだ。

ほぼ2時間かけてJR奈良到着。西口を出ると『100年記念館』（磯崎新設計）がドンと構えている。ちょうど昼飯時だったので、ちょうどよい、そのレストランへ入る。インテリアもそこそこ凝っていて、倉俣史郎の椅子が置かれたりしているけど、3~40席あるスペースは雑然としていて、客はぼくだけ。

ワインとハチミツトーストを注文して、「やはり箱物優先の地方は、歴史的文化的都市といえども、こうなるのかな」と思いを巡らせながら食す。

京都や奈良は、やはり移動はバスがメインになる。5月19日は恒例の「うちわまき」の日で行きも帰りも高齢者や外人も混じって、超満員だった。もちろん境内

もたくさんの人でいっぱいだった。

奈良から 1 時間半で京都の前夜祭会場へ。会場では、岩見沢で協同で仕事をした京都工芸繊維大学の長坂大さんに、会う。竣工以来だ。あの「岩見沢の家」がまた何かの表彰の候補になっているらしい。

その日は先斗町の川床で、長坂さんと青森グループでワインを飲んでホテルへ帰る。

翌 20 日は総会の日。記念講演で内田先生の話聞いた。鎌田先生の基調講演を評して、「細かい数値はわからないけれど、そのデータに基づいた研究と実践で、多くの工務店が彼を慕っているのが納得できた。しかもそのデータの正確さが、2 桁以上は精度に優れているのではないか、というのが印象です」と述べられて、さすが師弟、よくわかりあっているなと思った。

基調講演のテーマ、Q1.0 (キューワン) X (エックス) については、北海道は鎌田先生と 6 年ぶりに再びゼミを開催しようとしています。

北海道における「レベル 4」、『ほぼ無暖房』に向けて。

それにしても配布された技術情報紙を見る限り、東北Ⅱ地域は Q1.0 (キューワン) 「レベル 1」ですすでに『ほぼ無暖房』なんだものね・・・